

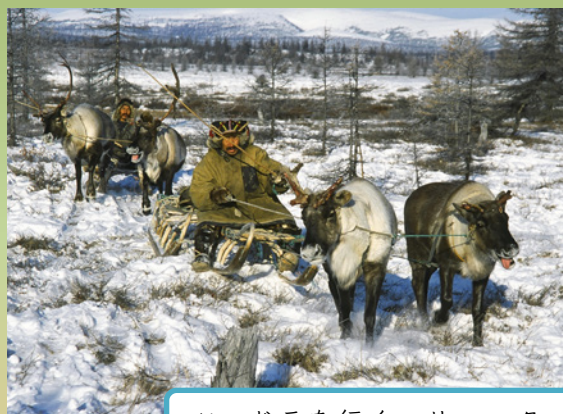
KIELI Tungumál IDIOMA LANGUE SPRACHE Мова
 SPRÅK LINGVO
 SPROG Taal TIL
 LÍNGUA JAZYK भाषा
 NYELV زبان LUGHA
 لغة DİL
 ΓΛΩΣΣΑ LINGUA VALODA LINGUAGGIO LANGUAGE
 人 文 知 言語 언어 言語

第16回 「人文知」 コレギウム

呉人 恵 (言語学・教授)
 藤川 勝也 (英語学・准教授)

名詞句階層から見る英語とコリャーク語
 ——異質性の陰に潜む普遍性——

どんな言語にも、「私」「子供」「犬」「海」「悲しさ」などといった「名詞」と言われるたくさんの語がある。人はこれらの名詞をただ雑然とではなく、「階層化」して認識し、文法に反映させていると言われる。本発表では、英語とコリャーク語という系統的にも類型的にもおよそ異質な二言語の所有表現に着目し、名詞の階層化を支える共通の原理に探りを入れる。



ツンドラを行くコリャーク

樋野 幸男 (言語学・教授)
 基底核を発動する連体修飾の構造

日本語の連体修飾は、連体修飾節が被修飾名詞の総体を修飾すると考えられてきた。一方、被修飾名詞の意味的基底の核である〈基底核〉を仮設することで、構造の説明が容易になる部類が存する。「(太郎が学校を休んだ)理由」という語は、ある事象に対する理由であり、その事象が基底となって成立する。本発表では、基底核に対する連体修飾について述べる。

テキサス州会議事堂



2019年11月20日(水)13:30-15:30
 富山大学人文学部・1階・大会議室

一般の方の聴講歓迎・事前申し込み不要・無料